

イカリエー X B 1 (1963)

IKARIE XB 1

VOYAGE TO THE END OF THE UNIVERSE

メディア 映画

ジャンル SF

製作国 チェコスロヴァキア

色彩 B&W

時間 88分

初公開日 2018/05/19

公開情報 コピアポア・フィルム

映倫 G

【キャッチコピー】

人類はやがて遭う

【解説】

スタニスワフ・レムの『マゼラン星雲』を基に、「スター・トレック」や「2001年宇宙の旅」に先立つ1963年に社会主義のチェコスロバキアで製作され、後のSF映画にも影響を与えたと言われる、映画史的にも重要なSF作品。2018年5月、〈デジタル・リマスター版〉にて本邦初劇場公開が実現。2163年。宇宙船イカリエーXBが世界初の生命探査の旅へと出た。地球への帰還までおよそ15年、高速で移動する乗組員にとっても2年間という長旅。その内部では様々な年齢の男女40人が共同生活を送っており、人間関係のもつれも次第に表面化していく。そんなある日、正体不明の宇宙船に遭遇する乗組員たちだったが…。

【クレジット】

監督	インドウジヒ・ポラーク	Jindrich Polak	
原案	スタニスワフ・レム	Stanislaw Lem	
脚本	インドウジヒ・ポラーク	Jindrich Polak	
	パヴェル・ユラーチェク	Pavel Juracek	
撮影	ヤン・カリシュ	Jan Kali	
衣装	エステル・クルンバホヴァー	Ester Krumbahova	
音楽	ズデニェク・リシュカ	Zdenek Liska	
出演	ズデニェク・シュチェパーネク	Zdenek Stepanek	アバイエフ艦長
	フランチシェク・スモリーク	Frantisek Smolik	アントニー
	ダナ・メドジツカー		ニナ
	イレナ・カチールコヴァー		ブリジタ
	ラドヴァン・ルカフスキー		マクドナルド副艦長
	オットー・ラツコヴィチ		ミハル